

# 内海学区地域まちづくり計画

～明るく住みよい地域文化の根ざした町・

安心・安全な町～



睦橋を挟んで田島・横島の風景

内海学区まちづくり推進委員会



## も く じ

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2. 内海学区の概要・・・・・・・・・・	3
(1) 地勢	
(2) 人口・世帯数	
(3) 学区内の公共施設	
(4) 保育所・小中学校の児童生徒の推移	
(5) 産業	
(6) 主な出来事	
(7) 年間行事	
3. 内海学区の現状と課題・・・・・・・・	7
(1) 現状	
(2) 課題	
4. 活動方針・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5. まちづくり事業の内容（分野別）・・・・	10

## 1 はじめに

2006年(平成18年)から住民主体の地域づくりに向けて、協働のまちづくり事業が開始され、内海学区でも地域の活性化や地域の安心安全、地域課題に取り組む事業、コミュニティの育成などを対象とした、「地域まちづくり推進事業」「キーワードモデル事業」に取り組んで一定の成果を収めてまいりました。

このたび、福山市の「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を基本にして、再度、私たち住民の視点から、自分たちの住んでいる地域の課題を掘り起して、今後どのような点を重視して取り組んでいかなければならないのかということ、まちづくり推進委員会を中心に各団体の貴重なご意見やアイデアを取り入れ協議し、「内海学区地域まちづくり計画」を策定いたしました。

この計画は、「行動計画」に示してある重点項目に基づき作成した計画であり、内海学区の活動の指針となるものです。

計画区間は、2016年度(平成28年度)を初年度として2019年度(平成31年度)までの4年間とします。

私たちの内海学区のお子様からお年寄りまで全ての住民が「明るく住みよい地域文化の根ざした町」「安心・安全」のまちづくりをめざして、一層の努力をして参りたいと思いますので、住民の皆様には今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内海学区まちづくり推進委員会

委員長 柿 木 敏 秀

## 2 内海学区の概要

### (1) 地 勢

内海学区は福山市の南端で、沼隈半島と内海大橋で結ばれ、架橋を渡ると田島西部地区に入り、ヤシの木ロードに導かれ、さらに西に進み睦橋を渡ると横島に到達します。この田島西部地区と横島地区が内海学区です。

地形は、急峻な山が多くを占めており、住宅地は田島の北側と西側にある平地に点在し、横島は東側の平地に密集しています。

青い海と、緑の山に囲まれた自然豊かで、温暖な地域です。

1989年(平成元年)10月に本土と島を結ぶ内海大橋が完成し、離島ではなくなりしました。船やフェリーでの海上交通から陸上交通に代わり、仕事・買い物・通院・救急搬送など容易にできるようになりました。

海岸線の道路は県道で、集落を結ぶ基幹道路です。集落内の道路は島特有の狭い道路が入りくんでおり、離合ができない道路がほとんどです。

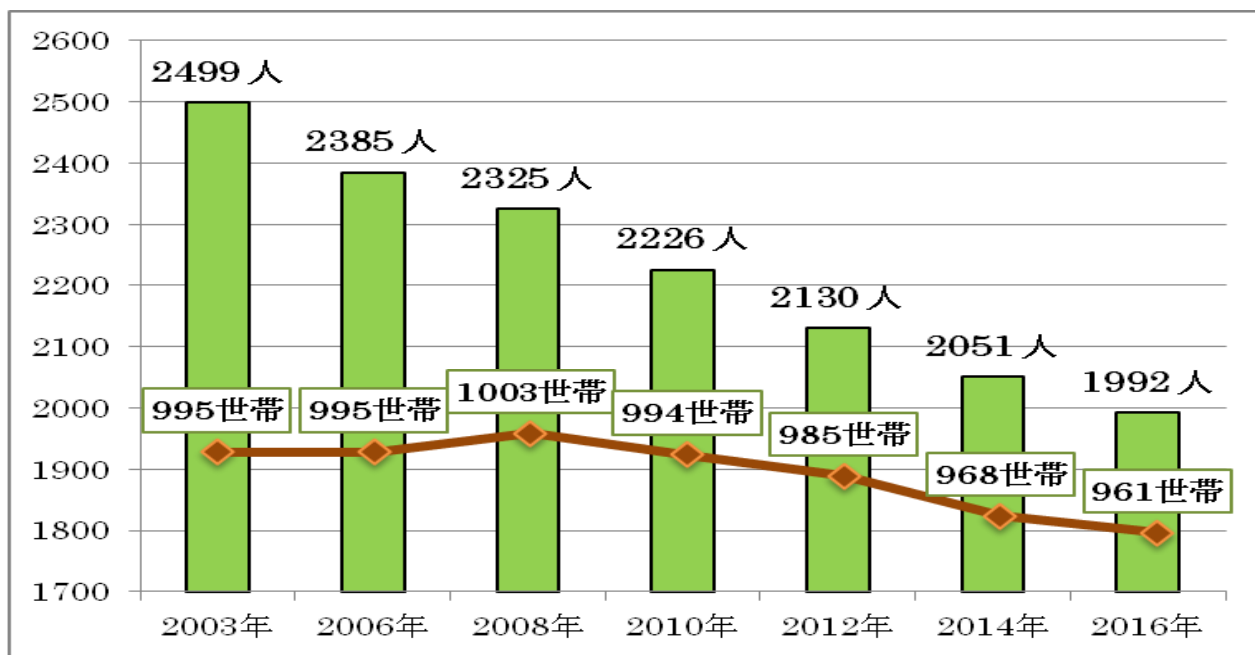


平成元年に開通した内海大橋

## (2) 人口・世帯数

内海学区の自治会は、田島西部地区(5自治会)横島地区(10自治会)があり、学区の2016年(平成28年)3月末の人口は1,992人、961世帯で高齢化率48.5%に達しており、過疎化、少子高齢化が進行しています。

### 内海学区の人口・世帯数の推移



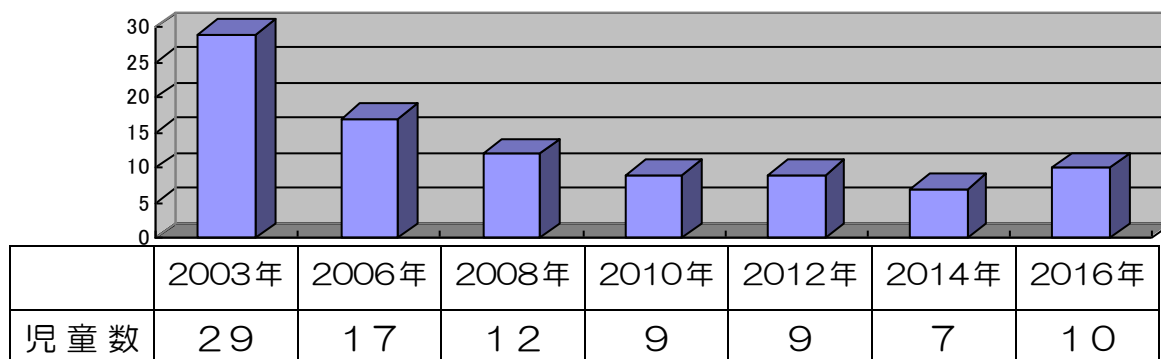
	2003年 3月末	2006年 3月末	2008年 3月末	2010年 3月末	2012年 3月末	2014年 3月末	2016年 3月末
世帯数	995	995	1003	994	985	968	961
人口	2499	2385	2325	2226	2130	2051	1992

## (3) 学区内の公共施設

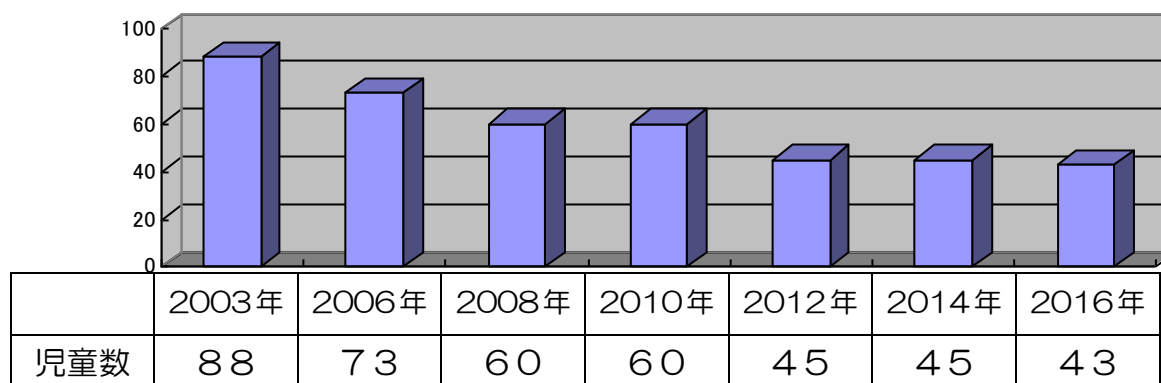
うつみ市民交流センター	、	内海小学校
内海中学校	、	内海保育所
内海公民館	、	内海ふれあいホール
やまわり会館	、	内海し尿処理場
内海郵便局	、	横島郵便局
福山西警察署田島駐在所	、	横島漁業協同組合
福山市農業協同組合内海支店		

#### (4) 保育所・小中学校の児童生徒の推移

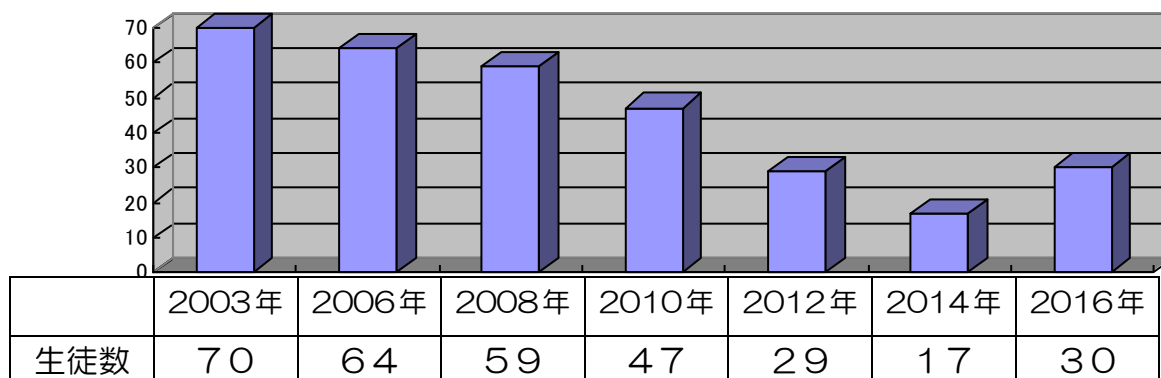
##### 内海保育所



##### 内海小学校



##### 内海中学校



## (5) 産 業

内海学区の産業は、以前は横島地区では半農半漁で、田島地区では出稼ぎや農業が主でした。現在は、専業農家は2世帯であり花卉園芸と養豚を営んでいるほかは家庭菜園程度で行っています。

漁業は底引き網による漁業が主ですが漁獲高は年々減少しています。漁師は高齢化しており、後継者不足になっています。漁獲量や魚食も年々減少している中で最近、消費者に直接販売する浜売りも試みられています。

観光面では、周りが海に囲まれており、風光が良く、近隣市町の海浜レジャー基地となっており、釣りや海水浴などの利用客が多くなっています。また、切石山までは駐車場や遊歩道が設置され、ハイキングコースもあり、また地域の史跡などを巡る方々も見受けられます。

こうした環境を生かし、交流人口を増やすため、「魚ぎょまつり」「しまコン」(婚活イベント)などのイベントが開催されています。



内海学区生涯学習まつりでの響組の太鼓演奏

## (6) 主な出来事

- 睦橋の開通 : 1951年(昭和26年)3月に完成(開閉橋)
- 内海町の誕生 : 1955年(昭和30年)3月31日に横島村, 田島村が合併
- 新睦橋の開通 : 1979年(昭和54年)8月に完成
- 内海大橋の開通 : 1989年(平成元年)10月に完成
- 福山市との合併 : 2003年(平成15年)2月3日

## (7) 年間行事

日時	行事内容	場所
8月	盆踊り大会	町内5か所
10月上旬	秋祭り	町内4か所
11月初旬	生涯学習まつり	福山市うつみ市民交流センター
1月上旬	初日の出の会	町内2か所
1月中旬	とんど	町内2か所



### 3 内海学区の現状と課題

#### (1) 現 状

1989年(平成元年)に夢の架け橋「内海大橋」が完成し、人口増、地場産業の振興などを期待していました。若者が増え地域に活気が出るものと思っていましたが、本土との交流は盛んになったものの、過疎化の進行を止めることはできませんでした。

福山市の中心部に車で30分の距離のため、逆に若者が福山市街地に住居を求めて流出するようになりました。さらに2003年(平成15年)の福山市との合併により通学エリアが広がりこれに伴い町外の学校や住居を求めるようになり、若者の流出に歯止めが掛からない状況になっています。このため一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の割合が増えています。

人口減少が進行するにつれて空き家も目立つようになりました。また、農業を営む方が減少して荒廃農地が増えています。住宅地の近くの畑も荒れてきており、イノシシが出没する状況です。

本土からの入込客は増加し、レジャー客のゴミや本土からの生活ごみや家電製品の違法投棄が視られます。

子育てをする若者が転出し、小中学校の児童・生徒も減少しています。内海小学校では児童の減少により2011年度(平成23年度)から複式学級の導入となり、その後も複式学級の解消はできていません。

内海中学校では、2011年度(平成23年度)から新入生は一桁台になり、2016年度(平成28年度)では6年ぶりに二桁台16人の新入生が入学しました。

こうした児童・生徒の減少は子育て世帯の転出や町外の学校に通学することによる減少です。

最近では、小規模校のメリット面を生かした内海の学校に、沼隈方面から内海小学校や内海中学校に通学する児童・生徒も見られるようになりました。

#### (2) 課 題

人口減少により、地域によっては伝承行事の継承が困難なところもあります。高齢者が元気で安心して暮らしていくためには、地域でのサロン事業や健康事業が必要です。

集落内では、空き家が目立つようになり維持管理ができていない状況にあります。廃屋の家屋もあり隣近所に被害を及ぼす危険な建物の処理が必要です。使用可能な空き家については空き家の利用を進めて、町外からの入居希望者に紹介し

ていくことが必要です。

農地は、耕作放棄地が増えており、畑が雑木で山になっている状態で、イノシシの行動エリアが増え、人家付近まで来ているため、地域内の除草や侵入防止柵やイノシシの駆除が必要です。

また、イノシシの増加によりマダニによる日本紅斑熱の発症もあり、地域での啓発が必要です。

交通状況は、沼隈・福山方面のバス路線がありますが便数は少なく十分ではありません。町外への交通手段のほとんどが自家用車によるものです。

海岸線は県道であり改良も行われていますが、集落内の道路は狭く離合ができない箇所が多いため改良が必要です。また、県道・市道・農道の維持管理が必要で通行に支障がある箇所もあります。

道路は、津波などの災害が発生した場合の避難道路にもなりますので防災用道路として整備が必要です。

内海学区は、瀬戸内海の中央に位置しており、台風や地震など自然災害は少ないところですが、防災意識の啓発は必要ですし、訓練等も行う必要があります。

災害に応じた内容で、台風での対応、地震での対応、高潮での対応など区分しでの訓練が必要です。

近年地域内でのコミュニケーションが十分に出来ていない状況にあり、隣近所でも何人生活しているかも分からないことがあります。地域での行事などで触れ合う機会を作ることが必要です。

小学校の運動会では、学校と児童・保護者のみで行ってありますが、学校は地域の基幹的な存在のため、学校は継続的に必要ですし、地域との交流を深めるための合同運動会の開催も必要です。

子どもから高齢者の方が交流できる事業の開催が必要です。



箱罠による捕獲



内海小運動会での内海音頭の踊り

## 4 活動方針

まちづくりの取り組みについての基本は、「内海学区に住んでよかった」と誰もが思える地域にすることです。そのための活動方針を次の通りとします。

- (1) 災害に強いまちづくりを推進するとともに、地域課題を踏まえながら誰もが安心・安全に暮らせる地域社会を目指します。
- (2) 地域の環境整備を推進し、生活しやすい地域づくりに取り組みます。
- (3) 子どもから高齢者まで、皆で助け合ったり支えあったりすることを心がけて、明るく住みやすい地域づくりに取り組みます。
- (4) 地域の特性を生かした、活力あるまちづくりに取り組みます。
- (5) 地域文化を継承し、地域に根差した教育環境の整備を推進します。



通学見守りの様子



保育所園児との交流の様子



内海町走ろう会駅伝大会の様子

## 5 まちづくり事業の内容(分野別)

※短期・・・1～2年 中期・・・3～4年 長期・・・5年以上

分野	事業内容	達成時期		
		短期	中期	長期
安心・安全	イノシシ駆除対策	○		○
	通学路の安全対策	○		○
	農道等の維持管理	○		○
	河川等の転落防止対策	○		○
	災害時の避難訓練等の対策	○	○	○
	防犯・交通安全対策の充実			○
	防災道路の整備管理	○	○	○
環境	空き家・廃屋対策	○	○	○
	畑・宅地などの放棄地管理		○	○
	環境美化対策	○		○
	花いっぱい運動	○		○
福祉・健康	買物支援対策	○		○
	高齢者の見守り活動	○	○	○
	子どもの見守り活動	○		○
	健康教室の充実	○		○
活力	コミュニティ活動の充実	○		○
	空地，空き家の活用	○		○
	親子で楽しめるイベントの開催	○		○
教育文化	世代間交流の推進	○	○	○
	スポーツ活動の充実	○	○	○
	伝統行事の継承	○	○	○
	内海っ子を育てる	○	○	○



消防訓練



10月の秋祭り



老人スポーツ大会



内海・内浦保育所の園児と老人会の交流



地域の子どもと高齢者の交流



地域一斉清掃

内海学区地域まちづくり計画

内海学区まちづくり推進委員会

2016年（平成28年） 11月

